

\ 岡山の / 大学へ行こう!

vol ③ 活躍する卒業生

岡山県には、それぞれに特徴を持った大学があります。また地元で進学すれば経済的にもゆとりが生まれるなど、地元大学ならではの魅力、メリットがあります。進学に当たっては、さまざまな情報を知ったうえで大学を選ぶことも大切です。シリーズ「岡山の大学へ行こう!」第3回では、大学生の経済事情と、卒業生による出身大学の魅力を紹介します。

川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学

児童の心身を育てる 「保健室の先生」に

元養護教諭の授業
実例から対応学ぶ

保健体育科の教諭を目指し、川崎医療福祉大学の医療技術学部健康体育学科を選択しました。部活動でバスケットボールに熱中して



医療技術学部 健康体育学科(2013年卒業)
高田 理沙さん
岡山市立平島小学校
養護教諭

た大学3年次、ブレイ中にじん帯を切るけがを負ったことでチーム全体をサポートすることにやりがいを感じ、同学科で並行して修得していた養護教諭へと志望が変わりました。

「養護学」の授業は、不登校やいじめ、発達障害などの事例を基に対応策を探る実践的な内容。養護教諭にはけがや病気の応急処置だけでなく、個別に児童の問題や悩みを寄り添い、担任や保護者へ「橋渡し」をする使命があると知り、学びに二層力が入りました。

現在学校では新型コロナウイルス感染症対策が最大の関心事。登校時や放送などにより、手洗いの励行を呼びかけています。また熱中症対策にも気を配っており、他の教



バスケットボール部では主将兼監督を務めた高田さん(中央)



コロナ対策だけでなく毎日の気温をチェックして熱中症対策にも気を配る

職員や保護者と連携しながら児童が健康で安全に過ごせるようサポートしています。休み時間には保健体育教諭の知識を生かして児童と体を動かす「コミュニケーション」。児童のわずかな変化を感じ取り、その時々状況に柔軟に対応できる「保健室の先生」でありたいと思っています。

〒701-0193 倉敷市松島288
川崎学園アドミッションセンター
☎ (086)464-1064